



かみのせき 議会だより

2021
1/22

No.153

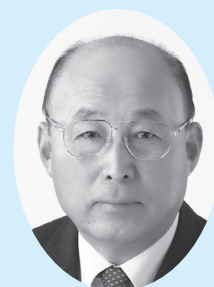


夢がかなうといいね！（上関小学校6年生のみなさん）

令和2年12月定例議会

議長新年のあいさつ	2ページ
議案（補正予算・条例の制定 他）	2～3ページ
第2回臨時会・質疑応答	3ページ
一般質問（5名が町の取り組みを問う）	4～6ページ
議会活動報告	7ページ
研修・お願い・要望・編集後記	8ページ

迎春



議長 西 哲夫

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。皆様にはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は年明け早々に「新型コロナウイルス」が隣国で発生し、短期間で世界各国に感染拡大しました。国内でも感染者が拡大し、緊急事態宣言が発出され日常生活、経済に大打撃を受けました。住民の皆様には自粛要請でのご不便、ご心配をおかけしたものと思っております。議会も住民に寄り添う思いで、議員報酬を6ヶ月間10%削減し、研修費を

併せ住民福祉支援費に充てることにしました。

7月には集中豪雨で大津地区に通じる県道72号線が崩落し、長期間通行止めの事態となりました。また、11月14日には上関大橋室津側に段差が生じ通行止めになるなど予測しない事態が発生しています。「人命、財産を守る」町づくりは執行部と協働し取り組みを強化する必要性を感じています。

第2回目の中学生議会を2月に開催し、生徒8名が「まちづくり」の提言をするなかに生徒の郷土愛が感じられました。本年も開催する予定にしています。

一昨年より協議を進めていきます「議員のなり手不足」「ペーパーレス化」「報酬」「日曜・夜間議会」等について「議会

改革特別委員会」を3月に設置し、調査、検討を進めていきます。町の過疎、高齢化、財政の健全化など、課題は山積しています。議会は住民の信託に応える責務を負う立場にあり、住民福祉向上に努めてまいります。皆様にも町の現状をご理解いただきご協力をお願いします。

新庁舎建設の工期は本年3月末ですが、工事量の追加、上関大橋損傷で大幅に遅れていますが、完成後は利便性と職場の環境は格段に良くなります。

「新型コロナウイルス」の感染拡大が治まりましたらぜひひ議会傍聴にもおこし下さい。

結びに皆様のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げますとともに平穏な年でありますよう念願しご挨拶いたします。

議案

12月定例会は、12月1日から9日までの9日間で開催され、令和2年度一般会計・特別会計補正予算4件、条例の制定2件、条例の改正2件、報告1件が上程され、原案のとおり可決・承認された。

一般会計補正予算

◆令和2年度一般会計補正予算（第5号）

歳入歳出予算の総額に618万2千3千円を増額し、総額を49億7608万4千円とする。

主な歳入

子どものための教育・保育給付費国庫負担金、農業水路等長寿命化防災減災事業費県補助金、過疎地域自立促進特別事業債、緊急自然災害防止対策事業債などの増額が主なもの。

主な歳出

高齢者保健福祉センターの獣害対策柵設置工事、保育所委託料、農業水路等長寿命化防災減

災害業の設計委託料、町道等改良及び応急工事、土砂災害防止対策工事、上関大橋災害対策費、祝島小学校改修工事などの費用の増額が主なもの。

特別会計補正予算

◆国民健康保険事業および介護保険事業では、基幹系システム改修委託料の増額が主なもの。

◆簡易水道事業では、配水流量計更新業務委託料の増額が主なもの。

条例の制定

◆上関町議会議員及び上関町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定

・公職選挙法の一部改正に伴い、町議会議員及び町長選挙の選挙運動費用の一部について条例を制定し、公費負担を可能とするため。

◆町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定

・地方自治法の改正に伴い制定。

条例の改正

◆上関町国民健康保険税条例の一部改正

・地方税法等の一部改正に伴い改正。

◆上関町消防団条例の一部改正

・団員の減少に伴い第4分団（八島地区）を第1分団（上関・戸津地区）に統合するため。

報告

◆第三セクター等経営健全化方針の報告

第2回臨時議会

11月24日に臨時議会が開催された。

◆上関町一般職の給与に関する条例等の一部改正

◆動産の取得

新庁舎備品購入（議場机など）

・契約金額

938万8千5百円

・契約の相手方

（株）三光堂

代表取締役 盛貞 和見

質疑

応答

山戸孝議員

議場机の数は、現在この議場を見ると、22台あれば足りると思うが、27台の数量の根拠を。

立畠総務課長

これは、常任委員会の開催まで考えている。議員10台、執行部15台、事務局2台で考えている。

山谷良数議員

議場机の契約金額が938万8千5百円になっており、大体1台30万円相当になるが、発注するにあたり、どこかを参考事例にされたのか。その根拠的なものは、どのように出されたか。

立畠総務課長

今回求める一人掛け用の議場机はあまり種類がないので他市町の購入金額を参考にし、その金額をもとに見積もりを取って進めた。



議場机

一般質問



山戸 孝 議員

問
イノシシ被害をどう食い止めるか

答
今は粘り強く現在の対策に取り組む

質問

今年もイノシシ被害を訴える声は多い。町の支援もあり狩猟免許所有者数も捕獲数も増えているが、今後は初心者や高齢者でも扱いやすい捕獲器具の導入や、狩猟者個人の技術を高めていく必要がある。防除柵については複数の所有者のほ場を一括して囲む設置への補助や、設置作業支援の仕組みがあれば設置

が進むのではないか。また、ほ場の集約とグループ管理による生産性とイノシシ対策の効率化によって地域農業の維持を図る方策もあると思うが町長の考えは。

町長答弁

捕獲器具については耐久性の問題もあり慎重に検討していきたい。個人の技術については狩猟者講習会が毎年実施されており、必要であればヒアリングも猟友会と連携を図りながらやっていきたい。防除柵の一括購入は現在の設置事業で可能な場合もあるので担当課に相談を。設置作業費は補助の対象外なので、まずは地域での共同の取組を。グループ管理については異論は無い。地域において調整を行っていただいた上で、町としても県や国に相談していききたい。

問
上関大橋損傷の影響、今後について

答
今回の経験を生かしていく

質問

大橋の損傷を受け、住民生活を守る観点からお尋ねする。①移動販売の仕組みがあれば日常生活はもとより緊急時にも活用できるのでは。②住民への情報提供について、ホームページなどでの情報発信は迅速に行われていたが、町内放送は確認が難しいという声が多い。高齢者に伝わりやすい方策が必要では。また放送内容確認の電話番号はホームページにも掲載されていない。周知が足りないのでは。③今回の状況を精査し、今後の同様の事態への対応策を検討する必要があるのではないか。

町長答弁

①町では災害時の物資の供給に支障が出た場合を想定して民間業者と物資支援の協定を締結しているが、今回は履行に至らなかった。移動販売については地域の実情を考慮しながら検討していく。②町内放送が聞こえない場合は町への問い合わせや電話での内容確認をするよう議員も住民にお知らせを。電話番号は周知をしっかりとしていく。③町の対策本部を即座に立ち上げ、仕事の分担を明確にし、情報共有化した。今後検証を行い、今回の経験をこれからの対応に生かしていく。

町内放送の確認ができます！

「放送が聞こえにくい」「聞き逃した…」
このような時には、聞き逃した町内放送の内容を、
24時間以内のものに限り確認できます。

●電話応答装置電話番号

☎62-5111

(※通話料金がかかります)

音声ガイダンスに従って操作してください。

■ご不明な点は 総務課総務係 ☎62-0311



配布された町内放送確認用のシール



海下 竜一郎 議員

問 11月14日に発生した上 関大橋の損傷について

答
現在の橋を完全復旧し
ていく

11月14日の午後8時頃、県道
光・上関線上関大橋の室津側路
面に約20センチ程度の段差が生
じ、県は15日、国土交通省中国
地方整備局や有識者などと調査
を実施した。路面、桁内部、桁
端部、橋座部を目視点検し、路
面やコンクリート桁内部などに
異常は見受けられなかった。今
回の原因不明の損傷により住民
が大変不便な思いをしている。
現在の橋の復旧作業の進捗状況、
今後の見通し、展望など、また
第2上関大橋に向けての考えは。

町長答弁

県は副知事をトップとした上
関大橋損傷対策本部を設置し
た。今後は、検討委員会、専門
家の意見を聞いて、応急工事を
進め台数制限無ししの片側交互通
行にする予定だ。しかし大型車
両については厳しいので、今後
別な方法で力バーしていく考え
だ。新しい橋については、県は
そういう見解はなく検討もされ
てない、白紙の状態だ。現在、
県は専門家の意見を聞きなが
ら、完全復旧をしていくという
方向で進めている。



応急工事が進む上関大橋

問 定住対策への取り組み の考えは

答
定住移住対策に取り組む



山根 善夫 議員

質問

コロナ禍により様ざまな社会
経済環境の変化を引き起こして
いる。生活様式を見直すきつ々
けになっているのではないかと
仕事をする場所で暮らす時代か
ら暮らしたい場所で仕事をする
時代へと流れは変わりつつあるの
ではないか。感染拡大で注目さ
れた分散の機運をつかもうと各
地で動き始めている。これらを
契機として定住移住対策を進め
るためのいい機会と考える。地
域と関わりながら仕事のできる
環境整備も必要と考えるが、こ
れらについての町の考えは。

町長答弁

住みやすい町でも、仕事がない
と若い人は住まない。定住に
は、雇用も不可欠な条件だ。地
域を活性化することが働く場の
確保にもつながる。原子力発電
所誘致もその一つである。定住
対策についても、コロナ禍にお
いて全国的に地方が見直されて
いる。東京では転出超過の現象
が見られ、これまで以上に、地
方に移住している状況が見られ
る。この変化をチャンスと捉え、
定住移住対策に向けより一層取
り組む。



定住促進住宅（室津）



清水 敏保 議員

問 空き家の有効利用について

答 引き続き取り組むべき重要な課題

全国各地で増え続けている空き家問題は、高齢化が進む地域で増加している。本町は空き家バンク制度を設立し、上関町への定住希望者へ情報提供しているが、現段階では成果があまりない。今後も空き家は増え続け、対策が必要である。①本町の空き家状況と空き家バンク登録状況は。②有効活用できそうな空き家、空き地の候補地はあるのかどうか。③空き家改修助成制度についての方向性は。

町長答弁

①平成27年度の調査では空き家の数は539件。その後も確実に空き家の数は増えている。今年5月の固定資産税の文書発送時に空き家バンク制度登録のお願いのチラシを同封したところ、これまで5件だった登録は14件に増えた。②空き家や土地の利活用といっても、あくまでも個人の私的財産。地域の御協力をいただきながら活用に取り組んでいく。③前向きに検討する必要があるが、財源確保等の問題もあるので慎重に協議、検討する。



空き家になった民家（祝島）

問 新庁舎の建設進捗状況と機構改革について

答 新庁舎の工期は延長
町民を第一に考え、機構の再編を進める

質問

新庁舎の工事が遅れているが上関大橋の損傷により、さらに遅れる事が見込まれる。町民も大変気にかけている。完成時期や予定を広報などで知らせてほしいとの声もある。併せて、空き庁舎の活用方法については、どのように協議が進められているか。また、新庁舎への移行に合せて機構改革も行なわれるようになっていく。機構改革は今後の住民サービスに大きく影響をおよぼす事になるが、どの程度素案が固まっているのか。



岩木 和美 議員

町長答弁

新庁舎の建設は、上関大橋の損傷で工期は延長される見通しである。完成は橋の復旧工事に左右されるので予測できない。工事再開に向け県に要望しながら協議していく。空き庁舎は、福祉センターは解体。分庁舎は民間に返却。高齢者福祉センターは上関福祉会などと調整中。保健センターは耐震の問題もあり課題として取り組む。機構改革については、各課長との意見交換を行う予定が大橋の損傷の対応で実施していない。案が固まり次第お示しする。職員の意見を聞きながら、町民が利用しやすい、事務の効率化が図れるような機構としていきたい。



新庁舎の工事現場

議会活動報告（令和2年9月9日～11月24日）

月 日	内 容（場所・出席者・参加者）
9月9日	第3回定例会 本会議
〃	全員協議会
9月11日	産業厚生常任委員会（清水・山谷・井原・海下・山根・西）
〃	総務文教常任委員会（右田・山戸・岩木・西・山村）
9月15日	第3回定例会 本会議
9月16日	第3回定例会 本会議
〃	議会運営委員会（海下・山根・井原・右田・山谷・西）
9月25日	熊毛郡議会広報連絡協議会定期総会 （田布施町：岩木・海下）
9月28日	例月出納検査（井原）
9月30日	県町自治研修会 （山口市：西・岩木・井原・海下・右田・山谷・山戸）
10月1日	議会広報委員会（岩木・海下・井原・右田・山戸）
10月6日	議会広報委員会（岩木・海下・井原・右田・山戸）
10月7日	定例表彰委員会（西・岩木・右田）
10月9日	議会広報委員会（岩木・海下・井原・右田・山戸）
10月13日	議会広報委員会（岩木・海下・右田・山戸）

月 日	内 容（場所・出席者・参加者）
10月15日	議会広報委員会（岩木・海下）
10月26日	例月出納検査（井原）
10月27日	熊毛郡町議会議員合同研修大会 （平生町：西・岩木・井原・海下・清水・右田・山谷・山戸・山根）
11月3日	定例表彰式（西・岩木・右田）
11月4日	地域協育ネット運営協議会（右田）
〃	県町議会議長会定例会（山口市：西）
11月5日	上関町人権学習講座（西・岩木・右田・山戸・井原）
11月9日	県町議会実務研修会 （山口市：西・岩木・井原・海下・清水・右田・山谷・山戸・山根）
11月16日	上関大橋事故県知事来町対応（西）
11月19日	町PTA連合会研修大会（西・右田・山戸・岩木）
11月20日	臨時船の綱取り（西・井原・海下・山戸）
11月24日	第2回臨時議会
〃	議会運営委員会（海下・山根・井原・右田・山谷・西）
〃	議会改革特別委員会（海下・岩木・井原・右田・山戸・西）
〃	臨時船の綱取り（山戸）

県町自治研修会

9月30日山口市のニューメディアプラザ山口で、「菅新政権の課題と解散総選挙の行方」を演題として、政治ジャーナリストの泉宏氏を講師に招き、今後の政局の動向などについて研修をしました。

熊毛郡町議会議員 合同研修大会

10月27日平生町役場で、「感染症対策」を演題として、山口県柳井健康福祉センター保健環境部副部長の林雅裕氏を講師として招き研修をしました。新型コロナウイルスの県内の感染者の動向、感染を防ぐための方策などについて、とても参考になった内容の研修でした。

県町議会実務研修会

11月9日山口市のセントコア山口で、「町議会の委員会運営について」を演題に、新潟県立大学

国際地域学部准教授の田中一博氏を講師に招き、議会における委員会制度の変動、また、常任委員会の本来の活動などについて研修を受け、今後の議会活動の参考となりました。



お願い

・令和3年度 理科教育設備整備費等補助金予算計上についてお願い

公益社団法人

日本理科教育振興協会

会長 大久保 昇

要望

・令和3年度 商工助成

上関町商工会

会長 濱田 憲昭

・令和3年度 観光協会助成

上関町観光協会

会長 濱田 憲昭

・令和3年度 商工会助成

山口県商工会連合会

会長 藤村 利夫

・児童生徒の健全育成に

かわる要望

上関町PTA連合会

会長 沖田さおり

新年明けまして

おめでとう

ございます

議員一同



編集後記

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、県道の崩落、上関大橋の損傷による通行止め、また、新型コロナウイルス感染症の拡大など、さまざまな事象により、皆様の生活に大きな悪影響があり大変ご苦勞されたと思います。

正月には、ご家族の帰省により楽しいひとときをすごされることを期待されておられた方も多かったことと思いますが、コロナ感染症予防対策により、さみしい三ヶ日となりました。今年はこれらの事象が解決し、通常の生活の営みができますよう願っております。

今年もよろしくお願い致します。

議会調査	広報特別委員	広報委員	聴取委員
〃	〃	委員長	委員長
〃	〃	委員	委員
山戸 孝	右田千賀子	井原 久治	海下竜一郎
			岩木 和美

次回定例会の初日は

3月9日(火)の予定です。

■発行責任者／議会議長 西 哲夫

〒742-1402 山口県熊毛郡上関町大字長島 503

TEL 0820-62-0364 FAX 0820-62-0783

■編集／議会広報広聴調査特別委員会

■印刷所／中村印刷株式会社